

小規模特認校制度の導入

教育厚生委員会

■平成24年度から上内小学校で

10月18日の委員会で、小規模特認校制度の導入についての報告を受けました。小規模特認校制度とは、小規模化が進行している学校で、特色ある学校運営を進めつつ、通学区域の弾力化により、校区外からの児童の就学を認める制度です。平成24年度から、複式学級の見込みがある上内小学校に導入されます。

■大牟田市立病院院内保育所の開所

10月18日の委員会で、大牟田市立病院院内保育所の開所についての報告を受けました。市立病院に勤務する職員の雇用確保と定着を図り、病院事業の運営を円滑に行うことを目的として、職員の乳幼児（生後57日目から小学校就学前まで）の保育を行うための施設で、開所

日は23年12月1日です。

■陳情審査

12月7日の委員会で、大牟田市シルバー人材センター及び大牟田市母と女性教職員の会から、それぞれ陳情に伴う意見陳述があり、陳情審査を行いました。大牟田市シルバー人材センターの意見陳述では、前年度並みの補助金の交付、今後の補助金の確保や公共事業の発注への配慮等、シルバー事業へのさらなる支援・協力を要望されました。大牟田市母と女性教職員の会からの意見陳述では、小・中学校の30人以下学級の実現、学校施設設備充実のための教育予算拡充、全学年での少人数学級の早期実現、学童保育所の全校区への早期設置、学童保育所施設の充実と定員の増加等を要望されました。

●所管：議会改革に関すること

本市議会の取り組みが注目されています

議会改革特別委員会

■11団体、96名が視察

本市議会は、市民に開かれた身近な議会を目指すために、21年度に議会改革特別委員会を設置し、本格的に議会改革に取り組んできました。22年12月には、議会活動の基本的事項を定めた議会基本条例を全会一致で可決し、23年2月から施行したところです。

また、23年5月の改選後の臨時会では、同条例を推進するために新たな体制で同特別委員会を設置し、同条例に掲げる議会報告会の開催等に取り組んでいます。

全国で議会改革の動きが広がりを見せる中、本市議会の取り組みは注目を集め、近年、他議会等からの視察が増えています。同条例の施行後は、12月までに11の議会等から96名の方がお見えになり、本市議会の取

組みを参考としていかれました。

本市議会は、現状に満足することなく、さらに同条例を推進することで、今後も新たな議会改革に取り組み、住みよいまちづくりのために力を注いでいきます。



議会改革の取り組みを説明する本特別委員会

他議会からの行政視察（10月～12月）

【10/4】大阪府四條畷市（子どもの居場所事業）【10/6】鳥取県米子市（地域認知症ケアコミュニティ推進事業）

【10/11】神奈川県座間市（議会改革）【10/13】兵庫県加古川市（エコサックセンター）【10/14】京都府長岡京市（小規模工事等希望者登録制度）【10/19】滋賀県彦根市（地域認知症ケアコミュニティ推進事業）【10/20】愛知県安城市（議会基本条例他）【10/21】栃木県小山市（地方独立行政法人大牟田市立病院）【10/31】滋賀県近江八

幡市（ランドデザイン）【11/1】千葉県八千代市（議会改革、市民協働）【11/2】千葉県印西市（エネルギーによる街の活性化、九州電力太陽光発電所）【11/8】愛知県西尾市（地域認知症ケアコミュニティ推進事業）【11/9】岡山県瀬戸内市（議会改革）【11/10】静岡県掛川市（議会運営、議会基本条例）【11/16】福岡県柳川市（行財政改革）【11/24】北海道稚内市（地域認知症ケアコミュニティ推進事業、三池港の地域振興事業）